

知っておいてほしいこと

もしかして 妊娠? と思ったら

妊娠による女性の身体の変化

月経が2週間以上遅れる場合は、要注意!

また、**出血があっても妊娠している可能性があります**。普段の月経よりも期間が短くないか、出血量が少くないか確認しましょう。

その他にも、

- ・おりものの量や状態がいつもと違う
 - ・熱っぽい
 - ・胸が張る
 - ・眠い、だるい
 - ・胃がムカムカする、吐く
 - ・味やおいの好みが変わる
- などの症状があることがあります。



「妊娠かも…」と思ったら、

1. 相談する

- 「親にバレたらマズい」「学校に知られたらヤバイ」
追い詰められた気持ちで、自分達だけで解決しようと、あわてて決断するのはダメ。
 - 自分の人生のための選択を、パートナーや信頼できる大人をまじえて早めに相談しよう。
- ※妊娠22週を過ぎると、人工妊娠中絶の選択ができなくなります。

もし赤ちゃんを産んだら?

妊娠したら
今までの生活と
どうかわるのかな?

- ・赤ちゃんのお世話大変?
- ・睡眠時間や自分の時間がなくなる?
- ・どのくらいお金がかかるの?



2. 産婦人科を受診する

- 妊娠判定薬でチェックもできるけど、正確な診断のために、できるだけ早く産婦人科を受診しよう。
- ・産婦人科では、妊娠の有無に加えて、妊娠していた場合の妊娠週数や正常な妊娠かどうか確認することができます。

「産む」という選択をした場合

- 産婦人科で妊娠届出書を発行してもらい、自分の住んでいる市町村役場に提出する
- 産婦人科を定期的に受診する
 - ・自分と赤ちゃんの健康のために、きちんと受けましょう
- 保護者や学校と今後の学校生活について話し合う
 - ・学校生活で配慮が必要なこと、休学、転学 など

「産まない」という選択をした場合

- 人工妊娠中絶が可能な時期は、妊娠21週までとなっていますが、妊娠11週までの方が身体にかかる負担も少なくなります。
 - ※未成年の場合は、病院によっては親の同意書が必要なことがあります。このため、「妊娠したかもしれない」と思ったときは、なるべく早く身近な信頼できる大人に相談してください。

◆緊急避妊薬について

性被害にあったり、どうしても子どもを産むことができない状態のときの妊娠を避ける最終手段として緊急避妊という方法があります。性交渉後、72時間以内に(早ければ早いほど効果が高いです。)産婦人科を受診してホルモン剤(飲み薬)を処方してもらいます。

※ただし、緊急避妊薬の効果は100%ではありませんので、使用しても妊娠する場合があります。

緊急避妊にかかる診察が可能な産婦人科医療機関は厚生労働省ホームページを確認してください。



厚生労働省ホームページ

妊娠したかも、と不安で悩んでいるあなたへ

ひとりで抱え込むには限界があります。まずは誰かに相談しましょう。きっとあなたの力になってくれます。

- 身近な相談窓口
- ・思春期相談センターPRINK
妊娠の不安や女性の身体に関する相談：☎088-824-1221
月～金(祝日・年末年始は休み) 13:00～18:30
- ・にんしんSOS高知みそのらんぶ
0120-620-331 (無料) 8:30～20:00 受付
misonolampsos@gaea.ocn.ne.jp
24時間受付(24時間以内に返信します)

